

山本顕一 略歴

- 1935 年 7 月 20 日 福岡県戸畑市（現在の北九州市戸畑区）に生まれる。
- 1936 年 4 月 父山本幡男の満鉄入社（調査部北方調査室）に伴い、旧満州国（現在の中国東北地方）大連市に転居。
- 1941 年 4 月 大連市下藤在満国民学校（現在の小学校にあたる）に入学。
- 1943 年 4 月 父の転任に伴い、新京特別市（現在の長春市）白菊在満国民学校に転校。
- 1946 年 9 月 敗戦後の満州で一年を過ごした後、母の郷里の島根県隠岐郡五箇村に引き揚げ、五箇村立小学校に転校。引き続き五箇村立中学校に入学。
- 1950 年 9 月 島根県松江市立第一中学校に転校。
- 1951 年 4 月 島根県立松江高等学校に入学。
- 1954 年 3 月 同校卒業。同年 4 月、東京大学教養学部文科 2 類に入学。
- 1956 年 4 月 同大学文学部フランス文学科に進学。
- 1959 年 3 月 同学部卒業（卒業論文「アンドレ・シェニエの未完の哲学詩『エルメス』について」）。同年 4 月、同大学大学院人文科学研究科仏語仏文学専攻修士課程に入学。
- 1961 年 3 月 同大学院同課程修了（修士論文「ボナヴァンチュール・デ・ペリエの思想—『キュンバルム・ムンディ』の謎をめぐって」）。同年 4 月同大学院博士課程に進学。
- 1964 年 3 月 同大学院博士課程満期退学。
- 1964 年 4 月 立教大学一般教育部専任講師となる。
- 1967 年 4 月 同助教授となる。
- 1968 年 7 月 フランス政府招聘フランス語教師夏期研修「フランス・スタージュ」に参加、引き続き立教大学在外研究員としてフランスに滞在。翌年 7 月に帰国して、大学紛争の渦に巻き込まれる。
- 1976 年 4 月 立教大学一般教育部教授となる。
- 1985 年 4 月 立教大学在外研究員として渡仏（86 年 3 月まで）。
- 1995 年 4 月 一般教育部解散により大学教育部所属となる。

1998 年 4 月 大学教育部解散により社会学部所属となる。

2001 年 3 月 立教大学を定年退職する。

この間、成城大学、埼玉大学、東京女子大学、明治学院大学、東京芸術大学、東京大学教養学部、中央大学、青山学院大学等の非常勤講師を務める。

(山本顕一編)

山本顕一 主な業績

(1) 著 書

- 1976 年 『フランス文学講座 1・小説 I』（「物語作家たち」を執筆，大修館書店）
- 1978 年 『フランス語ハンドブック』（「作文」・「発音」の部を執筆，白水社）
- 1979 年 『フランス文学史』（「十六世紀」の部を執筆，白水社）
- 1976 年 『フランス文学講座 6・批評』（「新たな文学語の創造」を執筆，大修館書店）

なお、『コンピュータによるフランス詩音韻分析序説』を，2001 年駿河台出版社より刊行予定。

(2) 翻 訳

- 1963 年 サント・ブーヴ「人生論」（『世界人生論全集 10』所収，筑摩書房）
ボナヴァンチュール・デ・ペリエ「キュンバルム・ムンディ」（共訳，『世界短編文学全集 5』所収，集英社）
エルヴェ・バザン『愛せないのに』（共訳，白水社）
- 1964 年 ボナヴァンチュール・デ・ペリエ「笑話集」（『世界文学大系 74』所収，筑摩書房）
- 1966 年 ロマン・ロラン「ベートーヴェン後期の四重奏曲」（共訳，『ロマン・ロラン全集 24』所収，みすず書房）
- 1968 年 シモーヌ・ヴェーユ「労働の条件」他（『シモーヌ・ヴェーユ著作集 1』所収，春秋社）
シモーヌ・ヴェーユ「工場生活の経験」他（『シモーヌ・ヴェーユ著作集 2』所収，春秋社）
- 1970 年 ピエール・バルボー『ハイドン』（共訳，白水社）
- 1982 年 アンドレ・テヴェ「南極フランス異聞」（『大航海時代叢書第二期 19』所収，岩波書店）

(3) 紀要論文その他

- 1963 年 「Bonaventure des Périers の作とされている二篇の sonnets について」(『フランス・ルネサンス文学』1)
- 1972 年 「デ・ペリエとナヴァール女王—『キュンバルム・ムンディ』の謎の解明のために」(『立教大学フランス文学』2)
- 1976 年 「『笑話集』の真の作者は?—『キュンバルム・ムンディ』の謎の解明のために (2)」(立教大学研究報告・人文科学』35)
- 1991 年 「Baudelaire の 50 篇の sonnets の音調—文学研究におけるパーソナル・コンピュータ利用の一例」(『立教大学フランス文学』20)
- 1992 年 「フランス語教育へのコンピュータ利用の一つの試み」(『立教』140)
- 1996 年 「電子化時代の言語コーパス; フランス語のコーパス」(『言語』Vol. 25, No. 10, 大修館書店)
- 1999 年 「フランス語テキストの発音記号への変換プログラム開発の一つの試み」(立教大学言語人文紀要『ことばと人間』1)
- (山本顕一編)